

パオちゃん's EYE👁👁

2019年5月1日 発行 No.26

外来タンポポの変わり者

岡山県から知られている外来タンポポは、セイヨウタンポポとアカミタンポポの2種類です。両種ともヨーロッパ原産で、国内への侵入年代はセイヨウタンポポが明治の初めごろ、アカミタンポポが1900年代の初めごろとされています。

外来タンポポの特徴は、花びらの下にある総苞（そうほう）外片が下向きに反り返ることです（在来種は総苞外片が上向き）。そして、2種類の外来タンポポを見分けるには、葉や花の特徴ではなくてタネ（正確には果実）の色が決め手となります。つまりセイヨウタンポポのタネは灰褐色～茶褐色、アカミタンポポのタネは暗赤色～赤褐色になります。

2010年から5年おきに西日本一帯で市民参加によるタンポポ調査を行っています。2種類の外来タンポポに加えて、遺伝子解析によりセイヨウタンポポと日本の在来種との雑種の存在が知られ、2015年の調査では岡山県で外見上セイヨウタンポポと判定されたサンプルのうち42%が雑種だったという結果が出ています。それらの雑種タンポポは総苞外片が下向き～ななめ下向き～横向きと、株ごとにまちまちでした。

最近では総苞外片が完全に上向きの個体も見つかるようになり（写真1）、雑種の可能性が指摘されてはいるものの、その正体は不明のままです。ほかにも変わり者の外来タンポポとして、花の直径が6cmになる巨大なタンポポ（写真2）が見つかっています。

遺伝子解析にはタンポポのタネが必要です。花とタネが同じ株にあれば、専用の調査用紙に諸情報を記入の上、お届けくださいますよう、お願い申し上げます。詳しくは「タンポポ調査・西日本2020」のホームページをご覧ください。

狩山俊悟(植物担当)



写真1. 総苞外片が上向きの外来タンポポ。



写真2. 花の直径6cmの外来タンポポ。

パオちゃんズアイ👁👁に関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう! パオより

